

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

Vision（目指す姿）

社会のデジタル変革をリードするNo.1 クラウドインテグレーター

売上高
1,900億円営業利益
120.0億円営業利益率
6.3%ROE
20.0%

② 中長期の経営戦略

1. 事業ポートフォリオ変革

マイクロソフトクラウドライセンスのリセール事業を基盤としつつ、クラウドインテグレーション・クラウドサービスの売上構成比を高め全社的な利益率向上を推進

3. IT全社最適化推進

サイロ化したクラウド環境の最適化に向けマルチクラウド・セキュリティ・マネージド領域に注力し、生成AI活用に必要なData & AIにも取り組み事業領域を拡大

2. ライセンスのリカーリング化

マイクロソフトクラウドライセンス提供後のサポートサービス開発や、Windows10サポート終了に伴うPC入替需要への付随サービスでリカーリングビジネスに転換

4. 戦略領域3軸強化

クラウドビジネスサービス・AIサービス・クラウドグローバルサービスの3領域でワンストップ支援体制を強化。2025年5月にタイ駐在員事務所開設しグローバル展開加速

③ 対処すべき課題

① クラウドシフト加速対応

- ・サイロ化したクラウド環境の全体最適化が課題
- ・マルチクラウド対応能力の強化が必要
- ・サイバーセキュリティ対策への対応強化

② ビジネスIT領域拡大

- ・お客様事業部門主体のIT活用支援体制構築
- ・内製化需要への対応とスキル育成
- ・ビジネスデザインから運用まで一貫支援体制整備

③ 利益率向上への対応

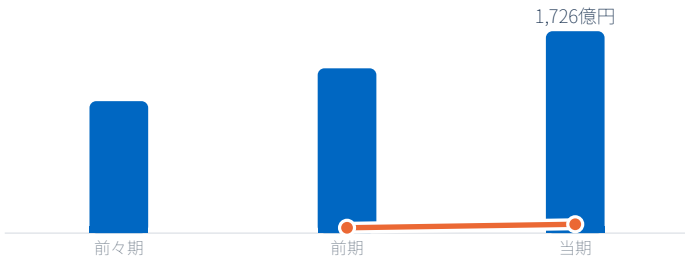
- ・ライセンスビジネスのリカーリング化推進
- ・エンジニアリングサービス売上構成比の向上
- ・付加価値の高いサービス開発による構成改善

面接で使えるポイント

- ・マイクロソフトクラウドを中核にしながら、マルチクラウド・セキュリティ・AI領域に事業拡大するクラウドインテグレーターの成…
- ・2028年9月期に売上1,900億円・営業利益120.0億円を目指す中での…
- ・三菱総研（15.2%出資）・日テレWands（20.2%出資）・Crayon Japan（20.0%出資）との資本提携に…

証券コード 5036

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
1,726億円営業利益率
4.4%財務健康度
39点 / 100点

要するに

日本ビジネスシステムズ株式会社の事業概要

...

主力事業・セグメント

- ・Licence・製品 71.2%
- ・クラウドIntegration 16.1%
- ・クラウドサービス 12.7%

強み・特徴（公開データから）

- ・連結売上高1,726億円の事業規模
- ・将来性評価は晴れ
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

将来性 晴れ / 就活偏差値 54.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
642万円

情報・通信業内 326位/592社

平均年齢
35.4歳

情報・通信業内 450位/593社

平均勤続
7.7年

情報・通信業内 225位/593社

女性管理職
16.9%

情報・通信業内 141位/373社

男性育休
65.3%

情報・通信業内 234位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は...）

直近ニュース十一言

参考: JBS、Cisco 360パートナープログラムで3分野最上位

